

短期滞在型マンション、東京・神奈川に続々——出張族に人気、割安・自炊も好評。

1986/03/13 日本経済新聞 地方経済面 山梨 25 ページ 804 文字

週決め、月決めで賃貸するウイークリー・マンスリーマンションが東京都、神奈川県に続々誕生している。ビジネスホテルに一週間、一カ月間泊まるのに比べ大幅に割安なうえ、台所用具などが備えてあり手作り料理も楽しめるなど長期出張のビジネスマンらに人気が高い。デベロッパーが金融機関などと共同で建設したり、信託方式によるマンションも近く開業する。

ウイークリー・マンスリーマンションの先駆けとなった司建物管理（本社東京、川又幸彦社長、資本金 500 万円）は現在、都内、横浜市内など十カ所に約千室を開業しているが、年内に山手線周辺や横浜市内に合わせて六カ所新設するほか、昭和 62（1987）年も三カ所以上で建設を計画している。

同社はこれまで自己資金や借入金で建設していたが、最近では大手建設会社、**銀行と共同で建設**したり、土地信託方式も取り入れる。東京都北区東十条に五十室を共同でオープンさせたのに続き、今後、江東区木場や千代田区秋葉原などを中心に共同方式を増やしていく。

信託方式では昭和 62（1987）年 5 月、**三井信託銀行**と豊島区池袋で 60 室をオープンさせる。同社は週決め、月決めで貸すと、空き室の出る場合が多くなっているため、週決め、月決めとホテル（一日単位）の両機能を持たせた宿泊施設も新しくつくった。今後は両機能を備えたものを中心に、**都内、神奈川県で昭和 62（1987）年 8 月までに 3,000 室体制にする。**

デベロッパーのマルコー（本社東京、金沢正二社長）は東京・世田谷区など都内と神奈川県に三カ所のウイークリーマンションを持っているが、さらに六十三年までに都内に二カ所、神奈川県に三カ所つくる。

横浜市内に計画しているのは、音楽スタジオを設け、音楽家が泊まり込みで演奏録音や音楽編集ができるようにする。都内のうち一つは練馬区にも建設中で、二百室、最大四百人も泊まれるようにし、スポーツ施設、研修室、OA（オフィスオートメーション）室も併設、民間企業の研修施設として貸し出す。